

6 学校教育環境の充実

【主な取組】

(1) 安全な教育環境の確保

● 学校施設の整備

- ・ 学校施設の長寿命化計画に基づき、優先度の高い学校から順次改修工事を行っていきます。また、特別教室に空調設備を設置し、より快適な学校教育環境を整備します。

● 学校安全の推進

- ・ ＊スクールガード・リーダーを各小学校に派遣するとともに、必要に応じて学校に交通安全及び防犯教育指導の実務経験者を派遣し、事故や犯罪から子どもを守るための取組の充実を図ります。
- ・ 学校、PTA、地域、道路管理者、警察等の関係機関による「廿日市市通学路安全推進会議」を開催するなど、関係機関が連携して効果的な通学路の安全対策に取り組みます。



関係機関による通学路の合同点検

(2) 教育体制の充実

● 9年間の学びをつなぐ＊小中一貫教育の推進

- ・ 各中学校区において、義務教育9年間を見通した教育活動を通して、児童生徒の発達段階に応じた一貫性のある学習指導や生徒指導を行うための、研究と実践を行います。

● 学校規模適正化

- ・ 子どもたちにとって、より良い教育環境を確保するため、通学区域の変更や統廃合など小中学校の規模適正化について検討します。



大野学園(大野西小学校・大野中学校)
(施設一体型小中一貫校)

(3) 学校給食施設の充実

● 学校給食施設の充実

- ・ 学校給食施設の耐用年数や今後の児童・生徒数を勘案し、学校給食施設の集約化や老朽化に対応する大規模改修等について、適切な規模や時期について検討します。
- ・ 各地域の学校給食センターを食育推進の拠点施設として位置付け、必要な施設整備を検討します（一部再掲）。
- ・ 食物アレルギーに対応した学校給食を提供するため、廿日市学校給食センターを改修します。



食育の拠点大野学校給食センター

【指標】

	指 標	現状値（R元年度）	目標値（R7年度）
(1)	小・中学校大規模改修（長寿命化）実施率	29.1%	41.6%
	小・中学校特別教室空調設備設置率	33.2%	64.0%
(2)	「小中9年間で目指す子どもの姿」を設定し、取り組んでいる学校の割合（「小中一貫教育」実施報告書）	—	100%
	小中合同研修会を実施している学校の割合（「小中一貫教育」実施報告書）	—	100%
(3)	食物アレルギー対応食を調理する専用室又は専用スペースを設置している学校給食センター数	1施設	3施設